

## 登別温泉の自然に感動

遠山久司さん (登別温泉ネイチャーセンターマネージャー)

登別温泉で暮らして、2年になりました。

わたしの勤める『登別温泉ネイチャーセンター』は、観光にいらしたお客さまに自然を通じた登別温泉の素晴らしさを、面白さをガイドする仕事をしています。

引越してくる前は、『登別温泉に自然ってあるの?』『ネイチャーガイドの自分がココで何を案内すればいいの?』という気持ちがありました。『毎日のように登別原始林のフィールドを歩いているうちに、さまざまな発見や驚き、感動に出会い、『なんて魅力あるフィールドなんだろ?』という思いに変わっていました。』

今、わたしの一番の喜びといえば、『森と源泉の散策』と言うメニューに参加してくださったお客さまから、『登別温泉には、こんなすこい自然があつたんだあ』『こんなふうにはわき出した温泉で入浴したんだあ』『登別温泉には何度も来ていてるけどイメージ変わったあ』『今度は違う季節を楽しみたい』という言葉が聞けることがとてもうれしいです。そして、ガイドという仕事をしていて良かったと思う瞬間です。

登別に暮らす皆さんの中には、自然大好き・アウトドア好きといった方がたくさんいると思いますが、『灯台下暗し』という言葉があるように、実は魅力たっぷりのフィールドが自分の暮らすまちの中にあるのに、そのことを知らない方がとても多いと思います。

時間ができたら、ぜひ一緒に登別原始林を歩いてみませんか。

きっと、登別温泉のイメージがガラッと変わると思いますよ。

今の自分があるのは、『自然』と『多くの人との出会い』のおかげだと思っています。

2006年もたくさんの方の素敵な出会いがあることを目標に、笑顔で暮らしていけたら良いなあと思っています。

(登別温泉ネイチャーセンターホームページ [www.h7.dion.ne.jp/nature2/](http://www.h7.dion.ne.jp/nature2/))



## 日本商工会議所全国商工会議所青年部連合会第23回全国会長研修会の開催に向けて

名畑有里佳さん

(登別商工会議所青年部会長)

日ごろより、商工会議所青年部の活動に、深いご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

今年2月に昨年より準備を進めてきました『第23回全国会長研修会』を、登別市で開催するに当たり、大きなプレッシャーと期待で身の引き締まる思いの日々です。

首都圏を中心に景気回復の兆しが見えてきたようですが、北海道・登別市では、依然厳しい状況が続いています。

そのような厳しい状況だからこそ『凜として起て、頑として進め』との大会キャッチフレーズに思いを込め、登別より発信したいと考えています。

意識はしないように心掛けていますが、本研修会初の女性大会長ということで注目を浴びることもありま

す。しかし、余計な気負いをせずに、女性の視点を生かした大会運営を心掛けております。

本年は、私をはじめ当商工会議所青年部員一同にとって特別な年であり、わたし自身、商工会議所青年部

の全国組織である全国商工会議所青年部連合会に出向し、本研修会のPRなどで全国各地を訪問させていただきました。

さまざまな経験や多くの方と交流の機会を得ることができ、本研修会を経験した後は、自身や所属企業の成長、そしてわがまち登別の振興に生かしていきたいと考えています。全国40カ所、1千200人の商工会議所青年部会員の皆さんを、わたしたち40人の会員でお迎えするに当たり、関係各位のご協力をいただきながら、実り多い研修、そして登別市のPRに努力してまいりますので、市民の皆さまならびに企業の皆さまのご協力をお願い申し上げます。



## コロポックルの森で

1年を過ごして

佐藤由希さん

(コロポックルの森保育士)

名寄で2年間の短大生活を送り、